

くつろぐニシローランド
ゴリラのヤマト=21日午
前、神戸市灘区王子町3、
市立王子動物園

ゴリラに霧の残暑見舞い

■神戸市立王子動物園■ 先月設置ミスト装置

日本の猛暑にあえいできた神戸市立王子動物園（同市灘区）のゴリラ2頭が、今夏は快適な日々を過ごしているようだ。ゴリラ舎に設置されたミスト装置の効果で、厳しい残暑にも涼しい顔でくつろいでいる。

ニシローランドゴリラ

のヤマト（雄、33歳）とサクラ（雌、32歳）。人間なら70歳近い高齢という。生息地のアフリカの高地は朝夕の気温が10度以下で、2頭にとっては日本の夏はまさに酷暑。ゴリラ舎の運動場は高さ約6メートルの壁で囲われて風が通りにくい。同園が7

月中旬、霧状の水を噴射するミスト装置を設置したところ、蒸し暑さが大幅に軽減されたという。ヤマトは特に暑さが苦手。例年夏は屋内展示場で過ごしてきた。飼育技師の川上博司さん（50）は「今年は夏バテの兆候が見られない。2頭とも

よく運動場に姿を見せ、お客さんに楽しんでもらえます」と話している。

（笠原次郎）

